

経営学部開設 50 周年を祝して



学長 大城 光 正

経営学部開設 50 周年を心よりお祝い申し上げます。

本学に経営学部が設置されましたのは、本学創立 2 年後の 1967 (昭和 42) 年 4 月のことであります。その後、2002 (平成 14) 年に経営学部経営学科を基礎とする大学院マネジメント研究科修士課程 (マネジメント専攻) が設置され、2004 (平成 16) 年には同研究科博士課程が開設されました。また、2007 (平成 19) 年には、学部にソーシャル・マネジメント学科と会計ファイナンス学科が増設され、既存の経営学科と併せて 3 学科体制となりました。これらを経て、経営学部は、今や学部から大学院博士課程を有する高度で充実した教育研究組織となっています。

本学部は、創設以来 50 年の間に、36,953 名の学部卒業生及び 160 名の大学院修了生を輩出してきました。これら卒業生・修了生は、企業経営、マーケティング、会計学等の経営学の専門知識は勿論、近年注目される環境問題や NPO 法人などの非営利組織論等に関する知識、幅広い教養、そして第一線で社会を牽引していくために必要な情報収集力、論理的分析力、表現力、問題解決力を兼ね備えた、まさに実社会を志向したマネジメント能力を有する有為な人材であり、その国内外を問わない各界での活躍は、本学部のこれまでの教育活動の成果を示すものとなっています。

上記のような教学面の実績に加えて、研究面についても本学部は積極的な活動実績を有しており、その一つである本学部所属教員の研究成果の発信においては、京都産業大学経済学会発行の『産業経済論叢』から 1970 (昭和 45) 年に京都産業大学経済経営学会発足による『経済経営論叢』の刊行に移った後、2000 (平成 12) 年に廃刊になるまで、同論叢は学術雑誌としての高い評価を受けてまいりました。また、これに続くものとして、2002 (平成 14) 年の大学院マネジメント研究科の設置を機に、新たに京都産業大学マネジメント研究会が発足し、『京都マネジメント・レビュー』が創刊されましたが、同誌も、本学から経営学の領域における本学部教員の研究成果を世に示すものとして、学術雑誌としての高い評価を獲得するに至っております。

今後も、教育研究の両面における益々の活性化及び同研究会・同誌の更なる発展を大いに期待しているところであります。

結びに、学部開設 50 周年を迎えた今、次の 50 年、即ち経営学部開設 100 周年を見据え、更に社

会に有為な人材の輩出と本学部の大いなる飛躍のために、一層の教学改革を不断に推進していただき、力強く雄飛していかれることを心より祈念しております。